



まちづくりの哲学と手法を九大生が考える国際ワークショップ -九州大学持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム 2015 年度国際シンポジウムを開催-

概要

九州大学持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラムでは、2015 年度国際シンポジウムとして、平成 27 年 10 月 21 日（水）に「まちづくりの哲学と手法を九大生が考える国際ワークショップ」を開催します。近年関心が高まっている「まちづくり」をテーマに、日韓の様々な取組における課題を比較整理し、その解決に向けたアイデアや情報を共有することが目的です。プログラム学生らが自ら企画運営を行い、学生の視点から、あるべき「まちづくり」のかたちを考えます。

背景

九州大学持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラムでは、カリキュラムの一環として学生主導による国際シンポジウムの開催を毎年行っております。これは同プログラム内の 5 つのモジュール（環境、災害、健康、統治、人間）に所属する学生が分野横断的に共同で企画をするというもので、今年度は、地方創生に関連して近年関心が高まっている「まちづくり」をテーマにシンポジウムを開催することとなりました。

同プログラムでは、学生が実習活動を通じてすでに国内外の様々な地域におけるまちづくりの取組を学んでおりますが、それらのケーススタディを比較しながら包括的に検討する機会がこれまでありませんでした。そこで今回、実習フィールドで活躍する現地関係者の方々に講演およびコメントいただくことで、問題点の整理と新たなアイデアの共有を図ることを狙いとしています。

内容

以下のとおりシンポジウムを行います。

- (1) 名称：まちづくりの哲学と手法を九大生が考える国際ワークショップ
- (2) 日時：平成 27 年 10 月 21 日（水）9:30～18:00（意見交換会 18:30～20:30）
- (3) 場所：九州大学 箱崎キャンパス 中央図書館視聴覚ホール
- (4) 言語：日本語（一部日韓同時通訳あり）
- (5) 主催：九州大学持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム
- (6) 後援：福岡市、八女市、対馬市、佐伯市、飯塚市
- (7) シンポジウムの内容

セッション 1 都市部における『創造的な』官民協働のプロセスを考える

対象地域：韓国ソウル特別市、福岡市、津屋崎町（福岡県）

セッション 2 離島・中山間地域における『持続的な』まちづくりを考える

対象地域：八女市（福岡県）、対馬市（長崎県）、韓国慶尚南道、由布市（大分県）

セッション 3 食を活かしたまちづくりの『地域性』と『関係性』を考える

対象地域：飯塚市（福岡県）、佐伯市（大分県）

効果

本シンポジウムにおいて同プログラム学生らは「まちづくり」に関するより多様な視点と包括的な知見を得ることで、今後の実習活動においても各地域へより実践的な貢献を行うことが期待されています。

【お問い合わせ】

九州大学決断科学大学院プログラム支援室

電話：092-802-6049

FAX：092-802-6057

Mail：hanamatsu.yasunori.138@m.kyushu-u.ac.jp